

山口県立 総合医療センターだより

2018.5
vol.32



【基本理念】
県民の健康と生命を守るために
満足度の高い医療を提供する

Contents

- 院長就任ごあいさつ… 1
- トピックス
 - 「人工関節手術の技術革新」… 2
 - 「地域包括ケア病棟について」… 3
- 部署だより
 - 「集中治療部の紹介」… 4 (上)
 - 「リハビリテーション科の紹介」… 4 (下)
- 看護部通信
 - 「栄養サポートチーム(NST)における看護師の役割」… 5
- 地域医療連携ニュース
 - 「平成30年度 看護部 院外の医療従事者に開放する研修会予定」… 6
- お知らせ
 - 県民公開講座、きららサロンのご案内、きららサロンミニ講座、やまぐち医療最前線、編集後記… 7
- 外来診察予定表……別紙



地方独立行政法人山口県立病院機構 山口県立総合医療センター

住所 〒747-8511 山口県防府市大字大崎10077番地

TEL 0835-22-4411(代表) FAX 0835-38-2210

URL <http://www.ymgph.jp>

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center



院長就任ごあいさつ



院 長
武藤 正彦

当院は周防灘を望むことのできる防府市に位置し、69年の歴史を持つ病床総数504床、標榜診療科30科を有する県立の総合病院です。山口県民のみなさまの健康と生命を守ることを使命として、そのための具体的目標を設定し1,000名あまりの職員が日々業務に励んでいるところです。

当院は24時間365日の救急医療体制を堅持し、県央部の中核病院としての役割を担っていて、年間2,500台あまりの救急車を受け入れています。病棟再編も進み、消化器病、心臓病、人工関節など、臓器・疾患別のセンター化を行い、効果的な病棟運営に努めています。さらに、総合周産期母子医療センターでは県内全域から患者さんを受け入れて高度かつ専門的医療の提供に責任を果たしています。その他、へき地医療支援センターもへき地医療の充実のために活躍しています。

他方、日々進歩していくがん診療の機能強化や小児救急医療の在り方など、今後当院として取り組むべき課題も山積しています。

県民のみなさまの健康増進に貢献できるよう、職員一丸となって邁進していく所存です。



トピックス



人工関節手術の技術革新

MIS (最小侵襲手術) からPMT (オーダーメイド器械) とナビゲーションシステムの導入

整形外科 部長

椎木 栄一



2010年から当院の田中浩部長を中心に、人工股関節置換術 (THA) にDAAという最小侵襲手術を導入して、既に1,000症例以上の実績があります。一方、人工膝関節置換術 (TKA) でも2012年からMISを開始してきましたが、最近はより精度の高い手術を目指してMISとは別に最新の技術を2種類導入しています。その一つがPMT (Patient Matched Technology) と呼ばれるものです。PMTはCTで撮影した情報を基に、患者さんごとにコンピューターで綿密な術前計画をたて、一人ひとりに適した**オーダーメイドの手術器械を作製**し、これを手術に使います。

もうひとつの最新技術は、**コンピューター・ナビゲーションシステム**を用いた手術です。カー・ナビゲーションは運転手を迷うことなく目的地に導いてくれるシステムですが、人工関節手術でも、コンピューターが骨の状態を認識して、正確に人工関節の設置位置を術者に知らせてくれます。このように新技術の導入により、**安全で正確な人工関節の設置が可能**となります。

知識も技術も日進月歩です。より良い手術結果をもたらすため、最善を尽くしています。



トピックス



地域包括ケア病棟について

地域包括ケア病棟医長

リハビリテーション科 診療部長 村田 和弘



病棟再編に伴い新設した地域包括ケア病棟は早いもので約1年半が経過しました。この病棟では、急性期治療が終了した後、患者さんが安心して自宅や施設に帰れるよう、必要な支援を医師、病棟看護師、専任の医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフの多職種が連携して行っています。その一環として、退院前の家屋調査、患者さんの家族や担当ケアマネージャーを交えての退院調整会議も必要に応じて開催し、退院に対する不安を少しでも軽減できるよう支援を行っています。

また、病棟のより良い雰囲気作りの一環として、談話室には季節ごとの飾り付けを行い、患者さん同士の交流の場となるようなアクティビティも用意しています。さらに平日の13時から、入院中の活動量の増加や退院後の運動習慣の定着をねらい、談話室にて、やまぐち元気アップ体操や防府市版ラジオ体操として作成されたお笑い体操を実施し、入院中の患者さんが少しでも笑顔溢れる時間を過ごせるようスタッフ一同取り組んでいます。



<季節ごとの飾りつけ>



<集合写真>



<リハビリ体操の様子>

部署だより



集中治療部の紹介



集中治療部長
麻酔科 部長 岡 英男



当院の集中治療部は、ICU を12床整備し、救急救命センターに併設されたHCU と合わせて救急医療にも貢献しています。人工呼吸や急性血液浄化、IABP、PCPS による循環補助を必要とするような重症患者を、各専門科の協力体制のもと、専従の集中治療医と専門看護師、認定看護師を含む看護スタッフを中心に、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士など多職種が協働して治療しています。ただ救命するだけでなく、より早く回復し、より機能が保たれた状態で集中治療室から退室していただくことを目指しています。



リハビリテーション科の紹介



リハビリテーション科 主任
木原 涼子

当院でリハビリを処方する件数は年間 2,500 件です。この内 1,460 件はリハビリ専任医師である2名の医師が一人ひとり診察し処方します。以前はリハビリテーション科がなかったこともあり、診療科によっては処方をするまでに数日間を要していました。現在は2名の医師が主科からの依頼を受け毎日診察をして処方するため、早期からリハビリの介入が可能になりました。また、これまで理学療法、作業療法は 365 日体制でしたが、言語聴覚士を6名に増員したことで、摂食機能療法、言語訓練も 365 日行えるようになりました。本年度当初で、リハビリテーション技師数は総勢で 34 名となり、更なる充実を図ってまいります。



看護部通信

栄養サポートチーム (NST) における看護師の役割

摂食嚥下障害看護認定看護師

田中 智子

栄養管理は治療を支えるうえで大変重要であり、全ての患者さんに共通する基本的な医療の一つです。当院では、2002年からNSTが活動を開始し、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など、多くの職種がそれぞれの専門性を活かして、病態や回復過程に応じた栄養管理を支援しています。

私は摂食嚥下障害看護認定看護師としてNSTに加わっています。看護ケアの中から患者さんの治療経過や栄養状態、食事の摂取状況、嚥下機能、呼吸状態などを総合的に評価し、具体的な栄養管理の提案を行っています。特に、栄養不良から合併症を発生し、食事摂取困難などにより入院期間が延長とならないように、多職種で協働しながら治療を支えることを大切にしています。また、入院早期から「口から食べる」ことを支援し、患者さんの予備能力の衰退を抑え、回復への意欲も支えています。

高齢化が進む今日、患者さんの回復を支援するうえで「栄養」と「食べる」ことの重要性はさらに増してきています。一人でも多くの患者さんに早期に回復していただけるよう、栄養管理のスペシャリストとしての役割を果たしていきたいと思います。



多職種での患者カンファレンス



NSTのラウンド風景

地域医療連携ニュース

◇平成30年度 看護部 院外の医療従事者に開放する研修会予定◇

開催日	研修会の名称	演題又は内容	対象職種
6月26日(火) 13:00～	新人看護職員研修3ヶ月	褥瘡予防とスキンケア スキンケアや褥瘡予防の基本的 講義とポジショニングの演習	新人看護師
7月24日(火) 15:00～	新人看護職員研修4ヶ月	リスクマネジメント 危険予知訓練とコミュニケーション SBARを用いた報告などの講義と演習	新人看護師
8月28日(火) 15:00～	新人看護職員研修5ヶ月	急変前の異常発見と急変時の対応 急変予測の情報収集や急変時の対応 講義と演習	新人看護師
9月11日(火) 18:00～	がん看護研修	苦痛症状のアセスメントと看護ケア 疼痛に焦点を当てた症状緩和看護 講義と演習	看護師
12月4日(火) 18:00～	がん看護研修	終末期における精神的支援 がん医療を理解した全人的苦痛の緩和と 患者の尊厳を支える看護 講義とグループ討論	看護師
12月11日(火) 18:00～	クリティカルケア研修	周術期患者の看護 手術による生体への侵襲と合併症予防 術前～術後の看護連携とメンタルケア 講義と演習	看護師
1月15日(火) 18:00～	クリティカルケア研修	急性期における家族ケア 家族のニーズと具体的ケア 講義と演習	看護師

研修申込みについては、各関係機関への FAX 及び当院 HP でご案内をさせていただきます。

ご不明な点は下記にお問い合わせください。



地域医療連携室 研修担当：池田
TEL：(0835) 22-5355 FAX：(0835) 22-5745

お知らせ



○平成30年度県民公開講座予定表

日時	演目	講師	場所
平成30年 6月 9日(土)	あなたの大切な人が心不全といわれたら ～心不全にならないための生活習慣～	循環器内科診療部長: 池田 安宏	山口南総合センター
平成30年 9月 1日(土)	消化器がんについて(仮)	消化器内科:医師未定	サン・ライフ萩 多目的ホール
平成30年12月22日(土)	脳神経外科切らずに治す脳卒中/ てんかん、震え、痛みの外科治療(仮)	脳神経外科診療部長: 藤井 正美/ 部長:安田 浩章	山口市(予定)
平成31年 2月 2日(土)	がん緩和ケアについて(仮)	麻酔科部長:中村 久美子	防府市アスピラート

○きららサロン

対象:がん患者さん・ご家族
場所:当院外来棟2階
会議室前コーナー
日時:毎週火・金曜日
10:30～15:00



○きららサロンミニ講座

がんと向き合う日々のためのミニ講座 27
「きららサロンから伝えたいこと」
日時:6月5日(火)13:00～14:00
講師:きららサロン代表 前川 育氏
場所:当院外来棟2階 第1会議室

○やまぐち医療最前線(tysテレビ山口)

※内容は両日とも同じです。

放送日時	放送内容	出演
5月 5日(土) 18:55～19:00	「チーム医療で取り組む人工関節手術」	田中 浩 医師
5月 9日(水) 16:50～16:55		
6月 2日(土) 18:55～19:00	「チーム医療で取り組む高齢者の心不全」	池田 安宏 医師
6月 6日(水) 16:50～16:55		

○編集後記

先日院内で、患者さんとリハビリテーション科職員と一緒に訓練しながら、会話をしている場に遭遇しました。患者さんはリハビリ科の職員に、「あなたのおかげで良くなった」と感謝されており、リハビリ科の職員は患者さんに「先生の手術のおかげですよ」と話していました。患者さんと職員のやりとりにあたたかみを感じました。

当院の整形外科では低侵襲で先進的な手術を行っております。当院で手術し、リハビリテーションをして退院していただくことで、患者さんがより早く、社会復帰できるように今後も職員全員で努力いたします。

(総務課 E.I)